

NISMOがSuper GT 2006年シリーズ体制発表。(2/14)

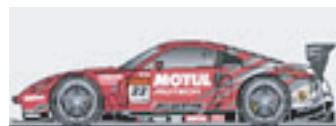
2月8日、日産自動車及びニッサン・モータースポーツ・インターナショナル(ニスモ)は2006年度のモータースポーツ活動の体制を発表。スーパーGT 500クラスへの参戦体制の詳細が発表された。

日産系チームの総監督は柿本邦彦氏が引き続き務め、ニスモのチーム監督は新たに飯嶋嘉隆氏が担当する。ニスモチームは「#22モチュール・オーテックZ」と「#23 ザナヴィニスモZ」の2台体制。モチュールオーテックZのドライバーは昨年に引き続き、ミハエル・クルム選手と、新しく加わった山本左近選手。ザナヴィニスモZのドライバーは本山哲選手と、松田次生選手となっている。

また、ハセミモータースポーツから参戦する「#3 イエローハットYMS・トミカZ」のドライバーは、ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手と横溝直輝選手となっている。今年は新たにKONDO RACINGが新規参戦、「#24 WOODONE ADVAN KONDO Z」としてエリック・コマス選手と柳田真孝選手とで戦っていく。

Super GT 2006年シリーズは3月19日の鈴鹿サーキット戦を皮切りに全9戦行われる。あと1ヶ月ほどでよいよ2006年もシリーズが開幕となる。

来年は#1で走るMOTUL号が見られるか!?今年も応援よろしくお願いします。



#22 Motul Autech Z



#22ドライバー ミハエルクルム/山本左近 両選手



#23 Xanavi Nismo Z



#23ドライバー 本山哲/松田次生 両選手